

地域の課題解決のための活動報告

記入日: 令和2年年6月10日

作成者: 浅井義也

団体名	日本郵趣協会 関西地方本部 芦屋郵趣会
活動月日	令和元年10月12日(土)~10月14日(月)
事業名	世界の切手展(アシペックス'19)
場 所	芦屋市民センター 3F 常設展示室
活動内容	<p>今年のアシペックス'19(世界の切手展)には15名の会員が15作品を出品した。今回は鉄道や船舶などの交通関係の切手が多く出された。会場には例年子どもたちが多く訪れるため出品者もこれを意識したものと思われる。そのほかには日本自然や旅の切手なども出品された。出品者はこの切手展のために1年間準備し来場者にいかに興味を持ってもらうかに努力している。今年日本郵趣協会から360頁のカラーのカタログ40冊の提供を受け、来場者に無償で配り大いに喜ばれた。</p> <p style="text-align: center;">参加者: 約^{60名}140名以上 受益者: ^{140名以上}60名</p>
活動成果	<p>今年の切手展は「広報あしや」に開催日などが掲載され、それを見て来た方々が多かった。3日間を通じて約140名の来場者があったことはありがたく思っている。今年は来場者の親が長年集めた切手を処分したいとの相談が何件もあった。直ちに芦屋郵趣会を紹介した。また今年度は芦屋郵趣会に新規に入会した芦屋市民が4名(男女各2名)あった。切手展の広報活動の成果と思っている。また今年も芦屋市民センターが切手展のポスターや案内の看板を作成して頂き感謝する次第である。切手展の活動が芦屋市民に影響を与えたことは大きな成果と思っている。</p>
今後の展望	<p>このような事業(切手展)は過去20年近く年開催されている。切手に関心を持つ若い人が減少していく昨今、切手集めがいかに魅力的な趣味であることを人々に周知する必要がある。今後も芦屋市の広報や報道機関に積極的に伝えていきたい。</p>